

## 令和4年度 第2回大月市地域公共交通会議 会議録

日 時：令和4年10月5日（水）13時56分～14時54分

場 所：大月市立大月短期大学 L号館1階 会議室

出席委員：別紙の名簿のとおり

事務局：横瀬課長、上條リーダー、天野、石丸

### 1 開会・委嘱状交付（司会：横瀬課長）

### 2 市長あいさつ（大月市長 小林信保）

本日は、大変お忙しい中、「大月市地域公共交通会議」に御出席頂きありがとうございます。

また、大月市地域公共交通会議の委員をお引き受け頂き、誠にありがとうございます。

本市においては、本会議委員でバス事業者であります、富士急バス様、タクシー事業者であります、富士急山梨ハイヤー様、大月タクシー様、また、関係各位により、昨今のコロナ禍に加え、燃料費高騰など厳しい社会情勢の中、市内の公共交通が運行されておりますことに感謝申し上げます。

本会議では、道路運送法による地域公共交通会議と地域公共交通活性化再生法による法定協議会として設置させて頂きました。第1回会議は、会議設置に伴う事務的な処理を書面決議にてお願いしたところであり、今回の会議は、設置後初めて対面で行い、実際の本市の公共交通について具体的に協議頂く場になろうかと思っております。

本市の公共交通政策がより素晴らしいものになりますよう、委員の皆様のご協力を是非頂ければと思っております。

さらに、本市の第7次総合計画では、まちづくりの将来像を実現するための目標を行政の分野ごと体系に分け、各種施策の推進を図っており、その中の基本計画の中においても、公共交通の充実を掲げております。

公共交通を取り巻く状況は、刻々と変化する中で、効率的な運行やデマンド交通の導入、市民のニーズや住民の意見等を踏まえ、地域公共交通のマスタープランとなる「大月市地域公共交通計画」の策定を目指し、市内公共交通の維持・確保に努めたいと考えております。

終わりになりますが、委員の皆様には、市内の公共交通が持続可能でより良いものになりますよう、忌憚のないご意見を頂きますようお願い申し上げて、あいさつとさせていただきます。

### 3 委員紹介

自己紹介形式により、委員・事務局の紹介を行った。

### 4 議事

議事（1）地域公共交通計画について

(事務局)

資料の2ページから5ページにより説明

**【質問・意見等】**

(天野議長)

秋山委員(代理:関口)に山梨運輸支局の管内の交通計画の策定状況について伺います。

(秋山委員(代理:関口))

管内の状況について全て把握は、出来ておりませんが、補助金に直結するというところで、策定に向けて検討している自治体は、増えている状況です。

(和田委員)

是非進めてほしい。

○議事(1)について、来年度、地域公共交通計画の策定に向けて事務を進めることを承認。

**議事(2) デマンドタクシーの実証実験について**

(事務局)

資料の7ページから21ページ及び別紙により説明

**【質問・意見等】**

(古屋委員(代理:山崎))

実証実験中の路線バスは、通常運行ということでしょうか。

(事務局)

実証実験中の路線バスは、通常運行となり、加えてデマンドタクシーの実証実験を行うこととなります。地域公共交通計画の策定に併せて、バスやタクシー事業者には、乗車人員等の傾向を把握することになるので、御協力をお願いします。

(深澤委員)

なぜデマンドタクシーなのかということになります。これから調査を行うわけですが、地域の課題が何かを明らかにすること。現状の公共交通の状況、空白地域、道路の整備状況、人口の分布などを調査し、分析することによって空白地域の予測をする必要があると思います。現在ある公共交通の問題点がないのかということになる。例えば、頻度、利用率、採算性それらが交通計画に関わってくると考えます。

次に住民の要望です。それらを併せる中で、問題点を選び出し手段を考えていくのではないかと。その中にデマンドタクシーが想定されると思います。デマンドバスや家用有償旅客運送が出来ないのかという問題もありますし、交通結節点に問題があるのであれば MaaS やダイヤの見直しが考えられます。問題点が分かってから課題を解決するアプローチが必要だと考えます。

(事務局)

市内ほぼ全域を富士急バスで網羅しております。現状大月市の高齢化率もあがっております。今回選ばせて頂いた、梁川地区と初狩地区は、交通空白地区があることか

ら、新たに公共交通を入れようということから事務局にて検討しております。

梁川地区は、1往復半しかなく、利用されている方が1人に満たない状況です。利用の状況を鑑みる中で、富士急バスと協議を行う中で、ダイヤの変更や自由乗降の導入を行っております。梁川地区は、国道をバスが往復している状況ですが、国道から離れている各集落と距離がございます。そのような交通空白地域を埋めつつ、現状の国道沿いをカバーし、営業所、猿橋駅に接続させるものです。

初狩地区については、丸田地区はゴミ処理場もあり道が広いので、地元より路線バスの乗り入れの要望も頂いております。社会福祉協議会を含めて地域の勉強会などを開催してきたところです。世帯数も少なく路線バスの採算性の問題もあり、路線バスの導入が見送られております。交通空白地を埋めるべく挙げさせて頂きました。

今後、実証実験を行った上で、乗降場所や時間帯など問題点や地元の要望を伺った上で組み立てていきたいと考えております。

(深澤委員)

来年度で計画を完成させなくてはならないとなると期間が厳しい事情もありますので、住民に説明できるようなアプローチ方法の検討をお願いします。施策も運輸局の補助を使いながら、貨客混載の改造などあります。様々な観点から計画に盛り込むことにより、既存の路線バスについても経営の強化に繋がることもあります。デマンドタクシーもあくまで試行であり、色々な要望等を吸い上げられるような仕組みをお願いします。

(小笠原委員)

初狩は、行政区が6区ありまして、地域の行政に携わることは区長を中心に行っております。デマンドタクシーについて今まであまり知りませんでした。路線バスや駅に接続させるものと伺いました。利用者がどの程度いるかは分かりませんが地元への説明が非常に重要になりますので、よろしくをお願いします。

(事務局)

初狩の各区の区長に説明いたしまして、その後来年度各住民への説明会にて分かりやすく説明していきたいと思っております。

(若菜委員)

梁川は、路線バスが1日朝と夕走っております。先ほど事務局から説明があったとおりですが、利用者として高齢者の女性が週に2、3回使う程度です。病院は、上野原・大月・都留の病院を使用しています。通院の際は、デマンドタクシーを使えると思います。食料品は、上野原市を皆さん使いますので、デマンドタクシーは使えないのが残念です。デマンドタクシーの良い点は、現状より自宅近くで乗降できることだと思います。欠点としてワンストップで目的地に行けないことだと思います。現状より、利便性が良くなり、安く目的地まで行ければ利用者が増えると思います。

(槇平委員)

しっかりとした調査があつてしかるべきですが、路線バスの輸送人員の減少ですが、令和元年度にコロナショックでいきなり約6万人減少しています。それまでは、微増ですが、コロナで急変してしまいました。地域によってかなり減少の度合いや復帰の想定を考えたとき単なる一過性を理由にして代替公共交通手段は、難しい気がします。把握していれば、地域性も検証したいと思っております。

もう一つは、他の施策との連動です。私は、立地適正化計画の委員も兼ねておりますが、ただ単に駅前に人を集めて便利になればいいというわけではなく、それぞれの地区の拠点となるような整備を行い、その地区にずっと住み続けられるような施策が今後求められます。それらと公共交通再編は、不可分な施策だと思います。それらを踏まえまして他の施策との連動性を今後どのように考えたらよいかが重要になってきます。先日、只見線の記事が新聞に掲載されていましたが、ただ復旧させるだけではなく、今後の利用の方法など地元や関係自治体の機運が求められることが強調されていました。地域活性化の取組だとが、予算措置などを含めたやる気だということだと思います。

(事務局)

利用者の分析については、富士急バスの協力を得て期間を区切って、調査を行っておりますが、コロナ状況などもありまとめきれないことはありますが、市内の利用者が減っている現状です。市では、利用促進の一環で、バスが乗り放題になるお出かけパスの事業を展開しております。当初は、市内で約1,000人利用されておりましたが、昨年度で約700人の利用となっております。今年度は、お出かけパスの範囲外である小菅村までの無料券を配布し、利用促進につなげております。

他の施策との整合性になりますが、都市計画マスタープラン、立地適正化計画や総合計画において公共交通の記載がありますので連動させていきたいと思っております。

意気込みになりますが、現状利用者が少ない状況にあります。先ほど意見がございましたが、直接目的地まで行けるのが最大で最善の方法になりますが、本市は、急峻な地形が多く、バスが循環してさせることが難しいことがあります。そのような地形の中でも効率的に運行できる、小型のタクシーで利用できるようになればと思います。少しでも交通空白地域の解消も含め、現在バスを利用している者も含めて不便の無い移動に繋げていければと思います。住民の皆様の様々な意見なども踏まえ今後の計画やデマンドの実証実験に繋げていきたいと思っております。

(本住委員)

これから計画の検討になると思っておりますが、目的地についてしっかり意識をして、考えて頂きたいと思っております。デマンドのルートを見ると、駅やバスの営業所に接続になりますが、鉄道などの接続についても考慮して頂き計画して頂くと、利便性も向上し、利用者の増加に繋がると思います。

○議事（2）について、来年度、デマンドタクシーの実証実験を進めることを承認。

議事（3）その他

(事務局)

○当会議の議事概要は、ホームページにて公表する旨の説明。

○委員報酬についての説明

対面開催 日額 5,000 円 書面決議 日額 2,500 円とすることを承認。